

令和4年度第1回松江キャンパス環境マネジメントシステム (EMS) 改善委員会 (オンライン会議) 議事要旨

日時 : 令和4年6月7日(火) 10:30 ~ 11:45
開催方法 : オンライン会議 (Teams)
出席者 : 委員長 藤波 豊彦 (大学経営・財務, 事務総括担当理事)
委員 塚田 真也 (教育), 高見 友里 (人間), 田中 秀和 (総理)
足立 文彦 (生資), 瀬戸 浩二 (研究・学術情報本部)
福間 栄子 (企画部長), 福田 孝寿 (研究・地方創生部長)
吉木 茂 (教育・学生支援部長), 中島 修 (総務部長)
井上 敏昭 (財務部長), 周藤 義男 (エネルギー管理員)
川西 匠 (学生EMS委員), 中井 建琉 (学生EMS委員代理)
小笠原 博 (島根県代理), 田中 秀典 (環境保健公社)
巢山 弘介 (生資)
欠席者 : 委員 福井 栄二郎 (法文), 磯山 未遊 (学生EMS委員)
松尾 和巳 (島根県), 余村 公洋 (松江市)
陪席者 : 居塚施設企画課長, 施設企画課 上野, 半田, 木村

- 令和3年度第3回松江キャンパス EMS 改善委員会議事要旨
委員長より, 令和3年度第3回松江キャンパス EMS 改善委員会議事要旨は添付のとおりであり, 本学ホームページへ掲載していると報告があった。

確認事項 :

1. 令和4年度松江キャンパス EMS 改善委員会委員について **【資料1】**
委員長より, 令和4年度松江キャンパス EMS 改善委員会委員について, 資料のとおり報告があった。

議題 :

1. 令和3年度における各部局等実施内容等報告書及び実施内容等に関する評価結果について **【資料2】**
施設企画課より, 令和3年度における各部局等実施内容等報告書及び実施内容等に関する評価結果について, 資料のとおり説明があった。
委員長より, 8月の委員会開催の時期について確認があり, 施設企画課より, 概ね8月中旬から下旬を予定していると回答があった。
委員から意見等は無く, 原案どおり承認された。
2. 「環境報告書2022」の作成について **【資料3】**
施設企画課より, 「環境報告書2022」の作成について, 資料のとおり説明があった。
福田委員より, 資料3-2の目次について, 担当者欄に旧組織名称の記載があるため, 現在の名称に修正する必要がある旨意見があった。これに対して施設企画課より, 修正する旨回答があった。
委員から意見等は無く, 原案どおり承認された。
3. 島根大学における令和4年度の省エネルギーの取組みについて **【資料4】**
周藤委員より, 島根大学における令和4年度の省エネルギーの取組みについて, 資料のとおり説明があった。
瀬戸委員より, 今年度の目標設定は高く, 現実味のある目標に設定した方がよいのではないかという意見があり, 周藤委員より, 厳しい状況ではあるが, 政府の方針もあり, 全体で取組む必要があるため, 5%の設定とし, ご理解ご協力をお願いする旨回答があった。
続けて瀬戸委員より, 今後の方針や省エネ以外のアイデアについて確認があった。これに対して周藤委員より, 今後の方針等は現在定まっていない旨回答があった。

田中秀和委員より, 2030年度までに電気使用量を51%削減するためのビジョンを早く設

定して欲しい旨意見があった。これに対して周藤委員より、カーボンニュートラルを含めたビジョンの設定は必要と考えるが、カーボンニュートラルは EMS とは異なる場で対応する必要があるため、今回の委員会においては今年度の省エネの取組みを提示し、ビジョンに関しては今後展開する旨回答があった。

続けて田中秀和委員より、「4. 具体的な省エネルギーの取組み」を踏まえ、昨年度の実施内容を報告して欲しい旨、及び実施内容を踏まえ、具体的な取組みを実効性のあるものにして欲しい旨意見があった。これに対して周藤委員より、取組内容については、今後、追記や修正等を行い、展開することとした。

加えて田中秀和委員より、「3. 節電取組実行計画行動方針」のうち、「業務効率化による超過勤務の削減」は EMS のために行うものとは異なる旨意見があった。これに対して周藤委員より、EMS の内容に合わない方針についても、今後、追記や修正等を行い、展開することとした。

川西委員より、他大学における再生可能エネルギーの利用事例のように、本学も同様の取組みを実施することは可能か質問があった。これに対して居塚施設企画課長より、太陽光発電については予算も併せて検討し、可能な範囲で設置予定である旨回答があった。

中井委員より、冷房温度 28 度などの温度設定が守られていないと思われる場所があると意見があった。これに対して委員長より、コロナ対策の換気により、温度調節が難しいこと、加えて、入室制限による人の減少が室温に影響していることも考えられるため、適宜対応してほしい旨回答があった。

委員長より、2030 年度までに 51%削減という目標設定は高いが、目標を設定し、大学全体で取組むということ、また、各構成員の省エネに対する意識を向上させるため、目安となる目標を設定する必要がある。併せて、省エネのみで目標を達成するのではなく、様々な取組みを並行して実施し、環境マネジメントとして対応できることから取組んでいくという意識が必要であり、今後、省エネの取組みの達成状況、取組内容及び削減効果等を分析し、報告する旨説明があった。

以上を踏まえ、委員長より、資料の内容で全学へ省エネの取組みについて依頼する旨、提案があった。

委員から意見等は無く、原案どおり承認された。

報告事項：

1. 学生 EMS 委員会の活動報告及び活動計画について

【資料 5】

学生 EMS 委員より、活動報告及び活動計画について、報告があった。

中島委員より、緑のカーテンについて生物資源科学部の先生方からサポートしていただいていたどうかと提案があった。これに対して足立委員より、サポートする旨回答があった。

その他：

足立委員より、令和 4 年 4 月よりプラスチック資源循環促進法が施行され、排出事業者は排出の抑制等に関する目標を定め、達成状況の公表が努力義務となっているが、資料 2-5 の環境目的・環境目標について、当該事項に関する記載はないため、どのように対応するのかと質問があった。これに対して施設企画課より、同法について把握出来ていないため、内容の確認後、対応することとした。